

第1回因北中学校区小中一貫教育校準備委員会

- 1 日 時 令和7年5月20日（火） 19:00～20:10
- 2 場 所 因島総合支所2階 多目的会議室
- 3 出席者 因北小学校長、重井小学校長、因北中学校長、重井中学校長
 因北小学校PTA会長、重井小学校PTA会長
 因北中学校PTA会長、重井中学校PTA会長代理
 宮本教育長、中濱教育総務部長、小柳学校教育部長
 榎原因島瀬戸田地域教育課長、安保学校経営企画課長、金子教育指導課長
 （司会：宮崎学校経営企画課企画振興係長）

4 進 行

担 当	内 容
宮本教育長	（19:00 開会） 1 開会あいさつ 皆様、こんばんは。教育長の宮本と申します。よろしくお願いいたします。開会にあたり一言申し上げます。 皆様方には、昼間のお仕事等で大変お疲れのところ、第1回小中一貫教育校準備委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。 令和9年4月スタート予定の尾道で2番目となります小中一貫教育校でございますけれども、これまで重井小学校と因北小学校、重井中学校と因北中学校が長い歴史の中で培ってこられました伝統や、地域に根差した素晴らしい教育活動等をいかしながら、因島らしい新たな学校文化を作り上げていく、そういう学校にしたいと思っております。 そのためこれから求められます教育活動に対応した教育施設をはじめ、子どもたちの安全安心を第一に考えた通学路の安全確保や通学支援、そして各地域の伝統や文化をいかした教育課程、再編前の学校間・児童生徒間交流、また閉校記念事業など検討すべき事項は多岐にわたっております。よって開校までの約2年の期間におきまして計画的、組織的に準備を進めていく必要があると考えております。 そこで本日第1回目の準備委員会でございますが、本準備委員会の設置要綱や組織、閉校記念事業など担当から早速説明をさせていただきますので、積極的にご意見やご質問をいただきまして皆様で共通理解を図り、有意義な会議となりますようよろしくお願いいたします。 子どもたちがワクワクして、令和9年4月を迎えることができますよう、皆様でお互いに知恵を出し合いながら、一つ一つ課題を解決しながら準備を進めてまいりたいと思っております。ぜひ、お力を貸していただけますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、開会にあ

安保副委員長	たつての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 2 因北中学校区小中一貫教育校準備委員会設置要綱について 因北中学校区小中一貫教育校準備委員会設置要綱を第一回目なので、読み上げて確認させていただく。 (因北中学校区小中一貫教育校準備委員会設置要綱 朗読) 3 自己紹介 (委員・出席者 自己紹介) 4 協議
司会	要綱第5条に基づき、ここからは、委員長が議事を進行する。
小柳委員長	それでは私が委員長なので、議事を進行させていただく。 レジュメ3の小中一貫教育校準備委員会について説明する。 組織の確認だが、今ここに集まっている因北小学校、重井小学校、因北中学校、重井中学校の各校長先生とPTA会長、教育委員会事務局5人の部課長を合計して、13人で構成されるものが準備委員会となる。 準備委員会は基本的に約2ヶ月に1回程度の開催を考えている。この2ヶ月の間に各部会を開いたりして検討をしていただくというふうに考えている。そのため今年度、来年度の2年間はこのペースで開催をしていきたい。もしかしたら1ヶ月とかの短いスパンもあるかもしれない。時間は保護者の方が参加しやすい時間ということで、この19時から約1時間30分以内ぐらいを基本としたい。 オブザーバーの参加、会長の代理出席は認めている。 準備委員会として採決をすることがある。実際に各部会で検討したことは、準備委員会が議決機関となっているので、委員会で議決をする。そのときに採決をする、全員一致となることが望ましいが、最終的には多数決で決めていきたい。 この採決のための規則は改めて策定とかはしないが、委員の13人で確認ができればいいと思っている。尾道みなと関係で準備委員会を開催したが基本的には全会一致になった。全会一致とならなかったのは校名の投票等であった。多数決で割れたが、数の多いものに決まった。

P T A 役員 小柳委員長	マスコミへは非公開で行いたい。理由とすればマスコミが入ると、保護者の方は自由に意見が言いにくくなる可能性があるためである。 準備委員会での協議の様子は、因北中学校区小中一貫教育校準備だよりを作成して、保護者へ配付したり地域へ回覧をしたりするように考えている。 また議事録はホームページで公開をさせていただく。これまでの因北や重井の説明会等も全てホームページで公開をさせていただいている。この準備委員会についても、マスコミへは非公開だが透明性を確保するということで議事録の方はアップさせていただく。 今後の開催場所だが、今日は因島総合支所でさせていただいている。2月28日の事前の説明のときに、中庄公民館または重井公民館の持ち回りでやるという考え方もあるという話をさせていただいたがどうだろうか。進入路や駐車場の台数などを考えると私はここでやった方がいいかと思う。委員の皆さんはどうだろうか。校長先生はどこでも来られると思うし我々もどこでも行くし準備をする。 ここがいい。 では、次回からも因島総合支所を基本としてさせていただく。以上でレジュメ3の小中一貫教育準備委員会についての説明とさせていただく。 続いて、縦4の各部会の編成について説明させていただく。準備委員会の下に3つの部会を設けて、協議検討をさせていただきたいと思う。 総務等検討部会は校長先生、教頭先生、P T A代表、教諭、事務職員、教育委員会の担当で構成される。下線の引いてある校長先生が部会長となる。逆に下線のない校長先生が副部会長となる。総務等検討部会は因北小学校の校長先生が会長となる。教員のところで重井中が掲載されていないが、今年度から教職員数の関係で重井中学校の教諭は位置づかない。この検討内容については、また後ほどお話をさせていただく。 続いて生徒指導等検討部会は校長先生、教頭先生、P T A代表、それから学校の教員には生徒指導主事と保健主事に位置づいていただいた。教育委員会の担当者を記載している。因北中学校の校長先生が部会長となる。 続きまして、教育課程等検討部会であるが、教育課程についてはP T Aの方に参画していただくのは教育内容に関することなので難しいと思っている。そのため、学校関係者で組織をさせていただき、校長先生、教頭先生、教務主任、研究主任。それから教育委員会の担当者を記載し
------------------------------	--

ている。重井中学校の校長先生が部会長となる。

続いて部会の持ち方について説明する。部会は、委員会の依頼を受けて協議を行い、協議内容や進捗状況を委員会に報告をする。

今日は各部会に委員長からの検討事項というのは、レジュメの中にもないが、次回からそういった検討を加えて、こういうことを検討してください、通学路の安全対策について検討してくださいとか。施設整備などについては確認してきてくださいとか、様々な指示という形をとって私から各部会に検討事項を依頼させていただく。それを部会で検討して、準備委員会で報告をしていただくようになる。そのため月に1回から2ヶ月に1回程度、部会の方は開催していただく見込みである。

保護者の方が1校につき数名選出されている。ローテーションで参加することも可能と、2月28日に話をさせていただいたことを受けてそういう選択をされているのではないかと思います。総務等検討部会と生徒指導等検討部会は夜の開催を基本とする。その場合、教職員の参加は勤務時間外なので参加が難しいと思う。可能であれば管理職以外の方も参加してほしいが、そこは学校で検討してほしい。教育課程等検討部会は、教職員の勤務時間の中で開催する。

部会は担当部会長の所属校での開催を基本するので、総務等検討部会は因北小での開催。生徒指導等検討部会は因北中での開催。教育課程等検討部会は重井中での開催となる。

部会のメンバーは、決まり次第校長先生を通して教えてほしい。

次に、スケジュールについて資料3をご覧ください。これまでに学校再編を行った学校の協議スケジュールを参考に作成しており、各項目の検討時期は前後することもあると思われる。

1番に因北中学校区小中一貫教育校準備委員会、その下に総務等検討部会、生徒指導等検討部会、教育課程等検討部会となる。

まず、総務等検討部会。閉校事業、PTA組織役員、学校運営協議会、施設整備、備品・消耗品廃棄・移転・購入、などを検討していく。1番の閉校事業について、重井小学校と重井中学校は関係するが因北小中は関係しない。PTA組織や学校運営協議会、これはコミュニティ・スクールに関するものである。基本的には来年度から検討があるのかもしれないが、PTA組織のすり合わせというのは早くやっても問題ないと思うので、そこはPTAとしてお話をさせていただきたい。施設整備・校舎棟改修について、このように予定を組んでいるが、総務等検討部会の中でも報告をしながら、進めていくこととなると思う。

備品・消耗品廃棄だが、重井小中は引越し作業、因北小中は受入作業、そういったなかで学校の中にある不要なものも片づけていかないといけ

	ない。また因北小中学校で新しい学びのスタイルというのも実現していきたいので、施設改修等を検討している。 続いて、生徒等指導検討部会。こちらは学校規定品、制服や体操服、靴や名札等。通学路の安全対策、路線バスを活用した通学支援方法などの検討が挙げられる。また、生徒指導規程や危機管理マニュアル、いじめ防止基本方針など小中一貫教育校であるため、小中そろえたものを提案させていただく。生徒指導等検討部会は、今年度検討することが多い。 教育課程等検討部会については、小中一貫教育校に向けて今の4小中学校の学校の良さや特色等をうまくミックスさせていくというようなことが必要になる。まずはこういった学校にしていくのかっていう学校教育目標や目指す子ども像等そういったところを検討していきながら、統合前の学校間交流を今年度から進めていきたい。今年度は予算化をしていないので、オンラインでの交流を基本とさせていただく。来年度は予算をとり、実際に対面での交流を進めていきたい。まずは今年度のオンラインによる交流後、速やかに計画を立てていくことが重要である。こういったことをこのようなスケジュール感で検討していきたい。それでは、縦4の説明を終わる。 各部会第1回の開催日程調整をさせていただいた。案内は学校に送っているため、学校から各委員の方に流れると思う。第1回目は今日よりも前に出させていただいたので、本来、部会長名で送らせていただくが、今回だけ教育長名で送らせていただいている。 総務等検討部会を6月2日月曜日19時から因北小学校、生徒指導等検討部会を6月4日水曜日19時から因北中学校、教育課程等検討部会を5月30日金曜日15時30分から重井中学校で予定している。それでは質問があればお願いしたい。
重井小PTA 会長	実際に参加する各部会の人数だが、今日みたいにオブザーバー込みで数名参加してもよろしいか。
小柳委員長	はい。部会の参加だが制限人数は特に設けていない。来られる方に来ていただく。席は用意をするし資料の方も用意する。
重井小PTA 会長	事前に何名と届け出て参加させてもらうという形だろうか。
小柳委員長	重井小学校の場合だいたいもう登録されているが。
重井小PTA	張り切って何人もいて、気持ちに前に出すぎているというか。

会長 小柳委員長	資料の準備のこともあるので、学校を通して教えていただければ、それはそういうふうに対応させていただく。来られることに関しては大歓迎である。たくさんの方に来ていただき、一緒に議論をさせていただければと思っている。
因北小校長	因北小学校もここは5年生の代表の方も入れさせてもらっているが、4年生も参加される予定なので人数などわかればお伝えするようにさせていただきます。
重井小PTA 会長	スケジュールの方ですけど。大卒でいついつにこのことを決めるというのを載せてくれているが、学校単位では与えられた指示をこなして返事するっていうのを繰り返し、今後詰めていくというというイメージでよろしいか。
小柳委員長	はい。基本的にはこの委員会で指示を出して検討していただき、最終的には令和9年4月に小中一貫教育校に移行できるようにスケジュールを組んでやっていきたいと思っている。委員会と部会を繰り返しながら進めさせていただく流れになっている。
重井小PTA 会長	各学校の意見を取りまとめて、あとはご判断していただくという感じか。
小柳委員長	少し私も説明が不十分だったかもしれない。部会で検討していただくが、検討のことになるのは各PTAに持ち帰っていただいてPTAの意見をまとめて部会に持ってきて、部会で協議をして委員会に上げることになる。各PTAの参画やご意見をいただきながら、進めていきたいというふうに思っている。 準備委員会だが、基本的に投票権があるのはPTAの会長だが、もし意見がある場合はオブザーバーの方も言うていただければせっかく来ていただいているのでお伺いする。 次に縦5の閉校式・閉校記念事業について、副委員長の方で説明をさせていただきます。
安保副委員長	資料4をご覧ください。尾道市立小中学校閉校記念事業補助金交付要綱これについては部分的なところで確認をしていく。 まず1条についてだが、「この要綱は、尾道市立小学校及び中学校が閉

小柳委員長	校となる場合において、その記念事業を行うことを目的に組織された団体に対し、記念事業に要する経費につき、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、その交付に関しては、尾道市補助金交付規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。」ということで記念事業を行うことを目的に組織された団体に対して補助金が交付される。そのため、何々小学校閉校記念事業実行委員会といった組織を立ち上げるということになる。 第2条だが、「補助金の交付対象になっているのは、当該年度をもって閉校となる学校の学区内の保護者、地域住民、当該学校職員等をもって組織される団体」なので、閉校記念事業実行委員会がその保護者や地域住民、当該学校の職員等をもって組織される団体となる。今回の場合は閉校記念事業の対象は重井小学校と重井中学校となる。 補助対象経費についてだが、第4条では「閉校となる学校の記念誌の発行に要する経費、閉校となる学校の記念碑の建立に要する経費、閉校式を行うために必要な経費、前3号に掲げるもののほか、記念事業に要する経費」であって、市長が補助対象経費として適当と認めた経費となる。市長が補助対象経費として適当と認めた経費ではあるが飲食の経費は対象とはならない。閉校式におけるお土産代のようなものは対象となる。 補助金額については、第5条にあるように補助対象経費の2分の1以内の額となる。ただし、地域の小中学校が同時期に統合する場合で、市長が必要と認めた場合は、補助対象経費の4分の3以内の額とする。重井小学校、重井中学校が同時期に統合するので、この補助対象経費の4分の3以内の額が該当するが、それは閉校記念事業実行委員会がそれぞれ組織されているというのが前提になる。上限がこの場合は150万になる。重井小学校中学校の閉校記念事業については今後の協議で、地域、PTAの方と連携をとっていききたいと思う。 閉校記念事業補助金交付要綱について、何か質問はあるだろうか。 この交付金事業の補助金交付要綱だが、該当する学校としない学校があるが、準備委員会の中での共有事項になっているので説明させていただいた。詳しくは今週金曜に地域、PTAそれぞれに一緒にお集まりいただき説明する場も取れるので、その場でいろいろ質問していただければと思う。 続いて、レジュメの縦6、保護者、地域の周知について説明する。資料5をご覧ください。この資料は、久保・長江中学校区に係る開校準備委員会だよりということで令和5年10月23日月曜日に発表をし
-------	--

	ている。 久保・長江中学校区が学校再編するときに委員会を立ち上げたが、委員会ごとに委員会が終わったら必ずこういうふうに報告するようにさせていただいた。今回もこの準備委員会での協議の様子等をこのような便りでお知らせする。保護者の皆様へ配付させていただき、また地域の回覧板でまわしていただいたり、ホームページに掲載、また尾道市議会の議員さんに提供させていただいたりしながら広く皆さんに知っていただければと思う。 地域での周知について以上だが、何かあるだろうか。 本日の議事は終了するが、委員から何かあれば発言いただければと思う。全体を通してでも良いし聞いておきたことがあれば、遠慮なくおっしゃっていただければと思う。
重井小 P T A 会長	統合の話があったが、実際統合の話を詰めていってトラブル事例やこれに気をつけて話しておいた方がいいことや注意点などはあるか。
小柳委員長	一番はやはり P T A の方に参画はしていただいているが、全体で見ると数パーセントもおられるかどうかの方が来られている。部会の方もそんなにいっぱい来るわけじゃない。そのためこの委員会や部会で話し合われたことが保護者一人一人まで同じ考えになっていなかったと感じたことがある。また、協議して議決している中身が、周知徹底不足でもう一度なんとかしてくれというようなことがあった。議事録も作って公開しているのでそれを確認していただき、ご説明して理解をしていただいたということもあった。私達、教育委員会、学校、P T A の会の皆様が一つの方向に向くというのが一番大事だと感じた。
重井小 P T A 会長	小学校 P T A も集まっているのは一部の人間で全員の同意を得ているわけではない。限られた時間の中でお返事するという形だと実際難しい。
因北小 P T A 役員	私たちは今年で P T A 役員を終わるため引継ぎがうまくいくか心配である。重井小も 6 年生の保護者が参加していると思う。因北小は 5 年生の保護者がいるが 4 年生の保護者への引継ぎも不安である。議事録を読む人も実際にいるか分からず、うまく伝えられるかも分からない。それをどうするか検討していただきたい。結局、来てない人は聞いていないから分からない。自分たちでは説明がうまくできないってところをどうするか考えてもらわないと来年の人が大変じゃないかと思う。

小柳委員長	久保・長江中学校区の小中学校でも年度またぎになった。1年半、オブザーバーで次の候補のような方が来られていた。今PTAはどこも単年度で代わられるところが増えてきており、次年度おそらく会長される方や、役員になられる方が後ろに座って一緒に進められていたことがある。
因北小PTA役員	それはおそらくできない。今実際5年生の親だが、4年生は難しいと思う。決めておくのが一番いいとは思う、じゃないと引継ぎの時間が難しい。あとはみんな仕事をしているし、そこはやっぱり一番難しい問題である。私たちも前の方々との引継ぎはそんなにうまくいってはいないと思う。終わったら安心してしまうというふうな、自分の番は終わったと思って。そこで協力してくれる人もいるかもしれないが、してくれない人もいるかもしれない。そこをどうにか考えておかないと来年が結局大変なことになるのではないかな。
小柳委員長	おっしゃることはよく理解できる。今いただいた意見がどういった改善ができるのかということもまた皆さんや学校ともご相談させていただきながら、少しずつ皆さんにご理解していただけるような方法を考えていきたいと思う。
重井小PTA会	尾道みなと小学校が始まったばかりだが、子どもたちの交流が始まってトラブルや想定外のことは起こっていないのか。
小柳委員長	久保・長江中学校区の方の交流だが、議会で議決されたのが9月だったので実際は10月23日から始まっている。そのため基本的にこの令和5年度の交流はできなかった。令和5年度に、令和6年度の1年間の計画を立て、小学校で言う和各学年でオンラインと対面交流をそれぞれ1回ずつ実施された。これは特別支援学校の子どもを含めて交流されている。中学校は令和6年度に部活動が積極的に交流を始めて、生徒会と一緒に活動する等、授業では総合的な学習をオンラインで交流しながら行った。 その中で、トラブル事例は聞いていない。保護者や子ども、教職員からも肯定的な意見が多かった。例えば部活動を一緒にやるようになり人数が増えて活発になったなど昨年の段階でも、肯定的な声をいただいている。実際にやるにあたって事前準備が大変だと聞いてはいるがトラブル事例というのは聞いていない。

	今年度、小中一貫教育校になり、尾道みなと小学校と尾道みなと中学校と山波小学校この1中2小だが、交流の場、小小連携、小中連携等、一緒にすることの計画を考えている。
重井小PTA 会長	閉校記念事業で町の団体の方たちとどういったことをしようかと町内で話している。他の学校で、例えば閉校記念事業でなにをしたとか、次のときに教えていただきたい。
小柳委員長	次回資料をお持ちさせていただく。今回、閉校した学校もあるし、これまでの学校もあるのでいろいろお見せできると思う。また閉校記念誌を各学校作られているので見ていただくこともできる。その辺り検討材料となるように準備したいと思う。
司会	5 その他連絡事項 最後に7のその他について確認する。次回開催だが、各検討部会の開催をうけて開催の調整をしたい。学校を通じて開催案内を送らせていただくのでそれをもとにPTAの方の参加をお願いしたい。 それでは以上をもって閉会する。